

横地分類(改訂大島分類)

「移動機能」、「知的発達」、「特記事項」の3項目で分類し、以下のように表記する。

例：A1-C, B2, D2-U, B5-B, C4-D

E6	E5	E4	E3	E2	E1
D6	D5	D4	D3	D2	D1
C6	C5	C4	C3	C2	C1
B6	B5	B4	B3	B2	B1
A6	A5	A4	A3	A2	A1

戸
外
歩
行
可

室
内
歩
行
可

室
内
移
動
可

座
位
保
持
可

寝
返
り
可

寝
返
り
不
可

(移動機能)

〈知的発達〉

簡単な計算可
簡単な文字・数字の理解可
簡単な色・数の理解可
簡単な言語理解可
言語理解不可

〈特記事項〉

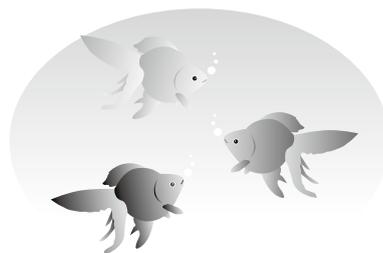
C:有意な眼瞼運動なし

B:盲

D:難聴

U:両上肢機能全廃

TLS:完全閉じ込め状態



います。私たち職員は細心の注意をもってこれに当たらねばならないと思っています。

あすかの

日常生活紹介

元木 実希

Aさん(横地分類A1)は、絵本の語りかけを良く聞きます。細かい絵の変化を感じて見ることはありませんが、ゆっくりページをめくる動きを集中して見る様子がありました。はつきりと分かりやすい動きを楽しめるように、キラキラ光るテープを使って、花びらが広がるような動きを作ってみました。始めは花び



絵本の『だるまさんが』で

らの軸になる棒だけの状態です。それが目の前にくると、大きく目を開きます。軸に滑らせるようにテープを動かすと、キラキラテープが少しずつ軸から花びらが膨らむように見えてきます。その動きをジッと見て、Aさんの目も徐々に大きくなります。テープが広がりきった状態でピタリと動きを止めると、クツと笑うように口元が上がります。反対にテープの花びらが徐々に小さくなるように見せると、また大きく目を開けて、小さくなっていくテープの動きをジッと見ていました。花びらが大きくなったり小さくなったりする動きを見て、気持ちが高まっているように感じました。



すばるの

日常生活紹介

大野 やよい

Aさん(横地分類D1)は、リビングで起きている出

は、Aさんの視線の先に本を見えるようにして「だるま・ま・さ・ん・が」と読んでいくと、パチパチと隣きをするようにまぶたを動かし、徐々に目を細めていきます。続く「ぶつ」という所で、パチッと目を大きく開け、本の方を見ています。また「だるま・ま・さん・が」で、徐々に目を細め、「ぶしゅー」になるとパチッと目を大きく開けます。擬音語のある繰り返しを感じているようでした。

来事や職員の行動をとってもよく見えています。自分では動けない分、鏡を使ってリビングに来る人をいち早く見つけたら、いつもと違う様子を感じると何があったのか、近くの職員に繰り返し聞いたりします。気管切開をしているので、言葉が上手く伝わらないときがあります。そのような時はトーキングエイドという機械を使って、自分で文字を入力し再生させて会話をしています。

現在、日常生活では「ロバゲーム」というボードゲームをしています。4種類の絵が描かれている旗を5本ずつ台に立て、サイコロを振って出た絵柄と同じ旗を取っていくものです。多く旗を取った方が勝ちになります。サイコロには×の面もあり、×マークが出ると旗を取ることができません。サイコロの出目によりゲームの展開が変わり、負ける経験も多くあります。Aさんは負けたときは言葉が少なくなり、その回のゲームにはあまり触れず、本人なりの悔しさが伝わってきます。しかし、悔しいと感じる経験をする中で、何事に対してもより真剣に向き合う姿勢が養われると思います。このような経験もAさんにはとても大切なことだと考